



FUJITSU

株式会社クロスキャット様

Cross Cat Co., Ltd

OUTLINE

既存の勤怠管理システムを PaaS 上に短期間で移植 クラウドを利用した新しいシステムインテグレーションを実現

USER'S VOICE



前田 耕司 氏 | 株式会社クロスキャット 取締役執行役員

「FGCP/A5 は国内のデータセンター上に構築
されているため、性能、セキュリティの両面で
安心して利用できる点を評価しました」

課題

- 社外に常駐している社員も含めた全社員の勤怠を管理できるシステムが必要
- オンプレミスで利用している .NET アプリケーションを、短期間にクラウド上で利用可能にしたい
- 性能やセキュリティの不安なくクラウドサービスを利用したい

効果

- クラウド上に勤怠管理システムを構築し、社外からのアクセスが可能に。全社員の勤怠管理を実現
- PaaS 型クラウドを利用し、サーバ設計やインフラ構築が不要となり、迅速なクラウドサービス化を実現
- 国内データセンターに構築されたクラウドサービスで、高速でセキュアな利用が可能

SaaS

PaaS

IaaS

DaaS

Network

プライベート クラウド

ソリューション

FGCP/A5 Powered by Windows Azure™

クラウドを選んだ理由

社外からのモバイルアクセスを容易に実現

採用の ポイント

国内データセンターに構築された PaaS 型
クラウドサービス

概要

独立系システムインテグレーターのクロスキャット様は、長年、金融機関のシステム再構築や統合に携わり、システム開発の品質と信頼性の高さにおいて高い評価を得ている。また経営の革新や効率化支援に長年携わってきた実績を活かし、独自開発のテンプレート「CCBITemplate」により、BI システムの構築をトータルにサポートしている。労働基準法改正により「ワークライフバランス」が注目される中、同社は勤怠管理見直しに着手。すでに販売していたパッケージシステムを PaaS 型クラウドサービス、「FGCP/A5 Powered by Windows Azure」(以下、FGCP/A5) 上に移植し、新たな勤怠管理システムを構築。同時に SaaS 版として外販を開始した。

ユーザープロフィール

株式会社クロスキャット

所在地：東京都品川区東品川1-2-5 NOF品川港南ビル

代表者：代表取締役社長 牛島 豊氏

設立：1973年6月

事業内容：システム開発サービス

従業員数：572名(2011年4月1日現在)

URL：<http://www.xcat.co.jp/>

User Profile

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

関係者の方々



高橋 晶氏
第2システム部
部長



伊藤 康史氏
ICTサービス&サポート事業部
部長

困難だった社外に常駐している 社員の勤怠把握

既存の勤怠管理システムを再構築することになった理由を、同社 取締役執行役員の前田耕司氏はこう述べる。「従業員約 570 名の 8 割近くが社外に常駐しているため、既存の自社用勤怠管理システムでは、正確な勤怠把握に限界がありました。リモートアクセスなども可能でしたが、制限も多いうえ全社員のアクセスは難しく、見直す必要が出てきたのです」。

同社は「クラウドサービスなら、手間をかけずにリモートアクセスが可能。PaaS 型であれば管理・運用の負荷を軽減し開発に集中できる」(前田氏)との理由で、各種クラウドサービスを検討。その結果、FGCP/A5 の採用を決めた。前田氏は、「移植するシステムが.NET アプリケーションだったため、Windows Azure をベースにした FGCP/A5 は最適でした。

また、国内のデータセンター上に構築されているので性能、セキュリティ面で安心して利用できる点を評価しました」と語る。

モバイル端末からアクセス可能な 勤怠管理システム

FGCP/A5 上に構築された勤怠管理システムは、予実管理、ワークフロー、工数管理などの機能を備え、携帯電話やスマートフォンなどのモバイル端末からのアクセスが可能となっている。特徴的な機能が、緊急連絡・安否確認だ。

「当社は仙台にも支店があるので、先日の東日本大震災では安否の連絡が取れず苦労しました。緊急連絡・安否確認機能は、そのときの経験から盛り込むことを決めた機能でした」(前田氏)。

システムの構成について、同社の第2システム部 部長の高橋 晶氏は「工数管理機能は

オンプレミスで管理しているプロジェクト情報等を参照しており、パブリッククラウドとオンプレミスが連携するハイブリッドクラウドと呼ばれる形態としています」と語る。

PaaS 上に構築したシステムを SaaS として外販

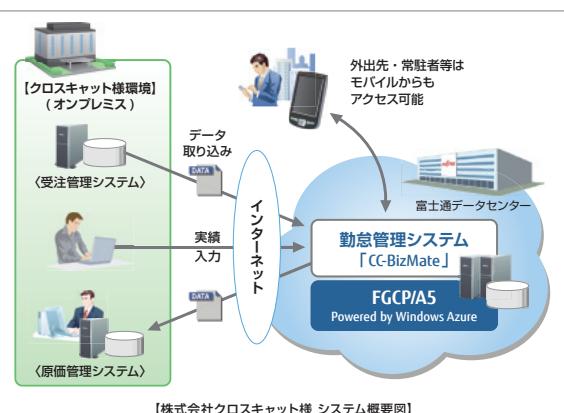
導入効果について高橋氏はこう述べる。「開発開始から 2 カ

月ほどでパイロット版を稼働でき、非常にスピーディーに開発できました。通常では、企画段階でさまざまな設計について検討する必要がありますが、FGCP/A5 ではサーバ設計やインフラ構築に時間を費やすことなくすぐに開発に入ることができ、スタート時の時間を大幅に短縮できました」。

今後、同社では勤怠管理システムを SaaS として「CC-BizMate」の名称で外販するという。「当初から外販を視野に入れていたので、お客様の抵抗が少なくなるよう国内データセンターを利用する FGCP/A5 を選んだという理由もあったのです。同システムは、当社が実利用しているので、単に勤怠の時間を管理するシステムではなく、どのように残業を抑制するかのノウハウが集約されています。実際、当社の残業時間は前年対比で 4% ほど削減しました。昨年よりも忙しかった本年で 4% 削減ということは、実質 10% 程度の削減効果があったのではないかと感じています」(前田氏)。

さらに前田氏はこう続ける。「『CC-BizMate』のように PaaS を利用してシステムを作り、それを SaaS として販売するというのは新しいシステムインテグレーションの形になると考えています。今後も、さらにいろいろなサービスにチャレンジしていきたいです」。

富士通は、お客様のご要望にお応えできるよう、FGCP/A5 の向上になお一層努力していく。



製品の詳細はwebにてご覧ください。 <http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/paas/fgcpa5/>

お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200 受付時間 9:00~17:30
(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター